最近の子どもネット事件

- 長野県の小6、ネットで出会った男に連れ回される
- 奈良県の中1、友人に中傷メールを受けて不登校に
- 愛知県名古屋市の中3、フィッシング詐欺で逮捕
- 岐阜県中津川市、中2少女殺害事件（ブログ）
- 静岡県高一女子、タリウム母親殺害未遂（ブログ）
- 山口県の高校で教室での爆発（ウェブ）
- 世田谷区の中学生がニセ札製造（オークション）
- 中学生が校内サーバーから成績資料を盗む
- 長崎県佐世保市小6少女殺害事件（ウェブ）

子どもたちの実態

- さまざまな事件にネットが絡んでいる
- ネット上で心を傷つけたり、つけられたりしている
- メールが原因で友だちとトラブルになっている
- たくさんの子がネットやケータイを使っている
- 荒れた掲示板を見てマネをしている
- オンラインゲームでお金を使っている

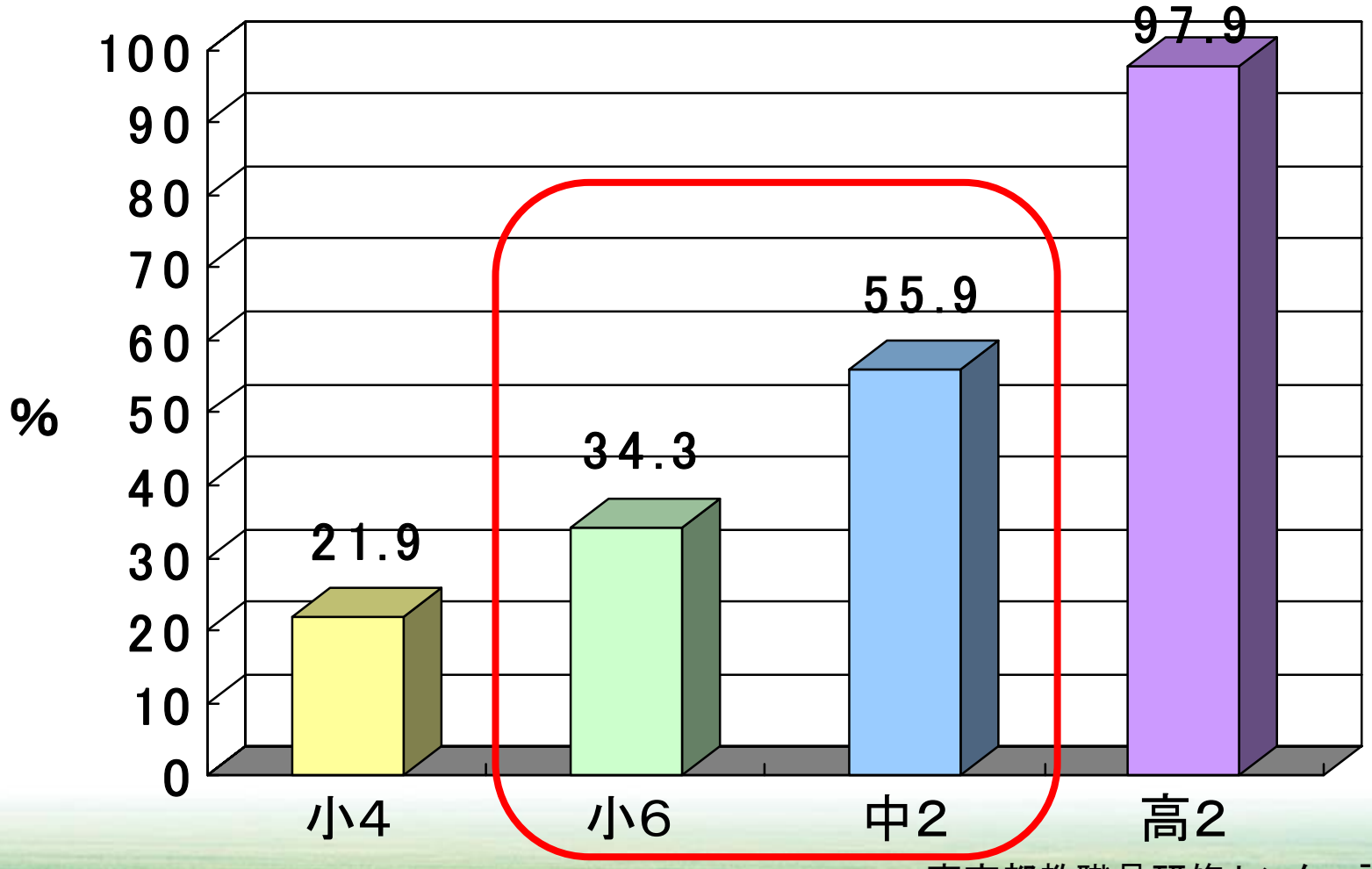
実態調査結果

- ❖東京都教職員研修センター調査

http://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.jp/sos/index.html

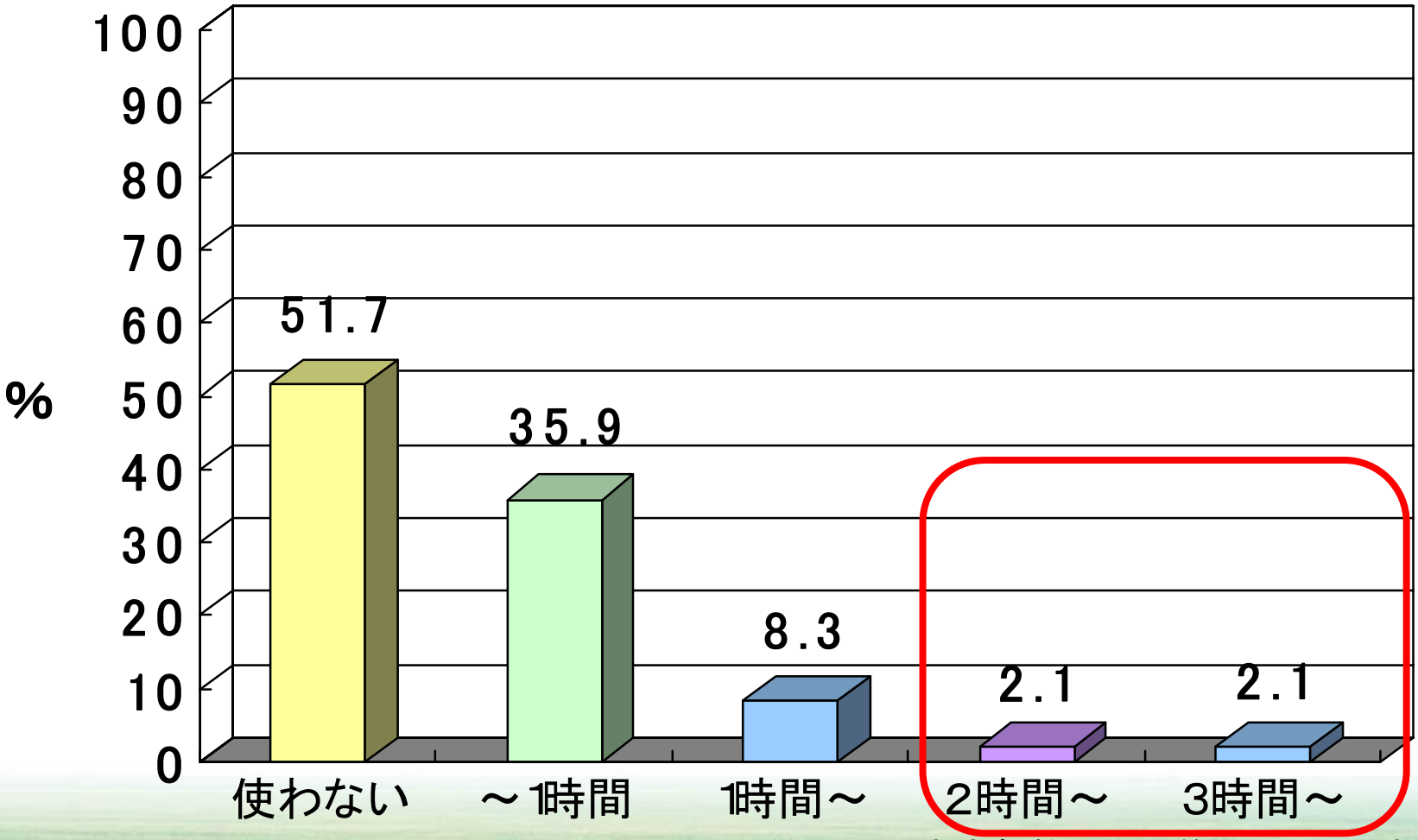
- ❖都内小4、小6、中2、高2生　計2,065名
- ❖平成17年7月調査
- ❖テレビ、携帯電話、インターネット、生活の調査

携帯電話の所有率



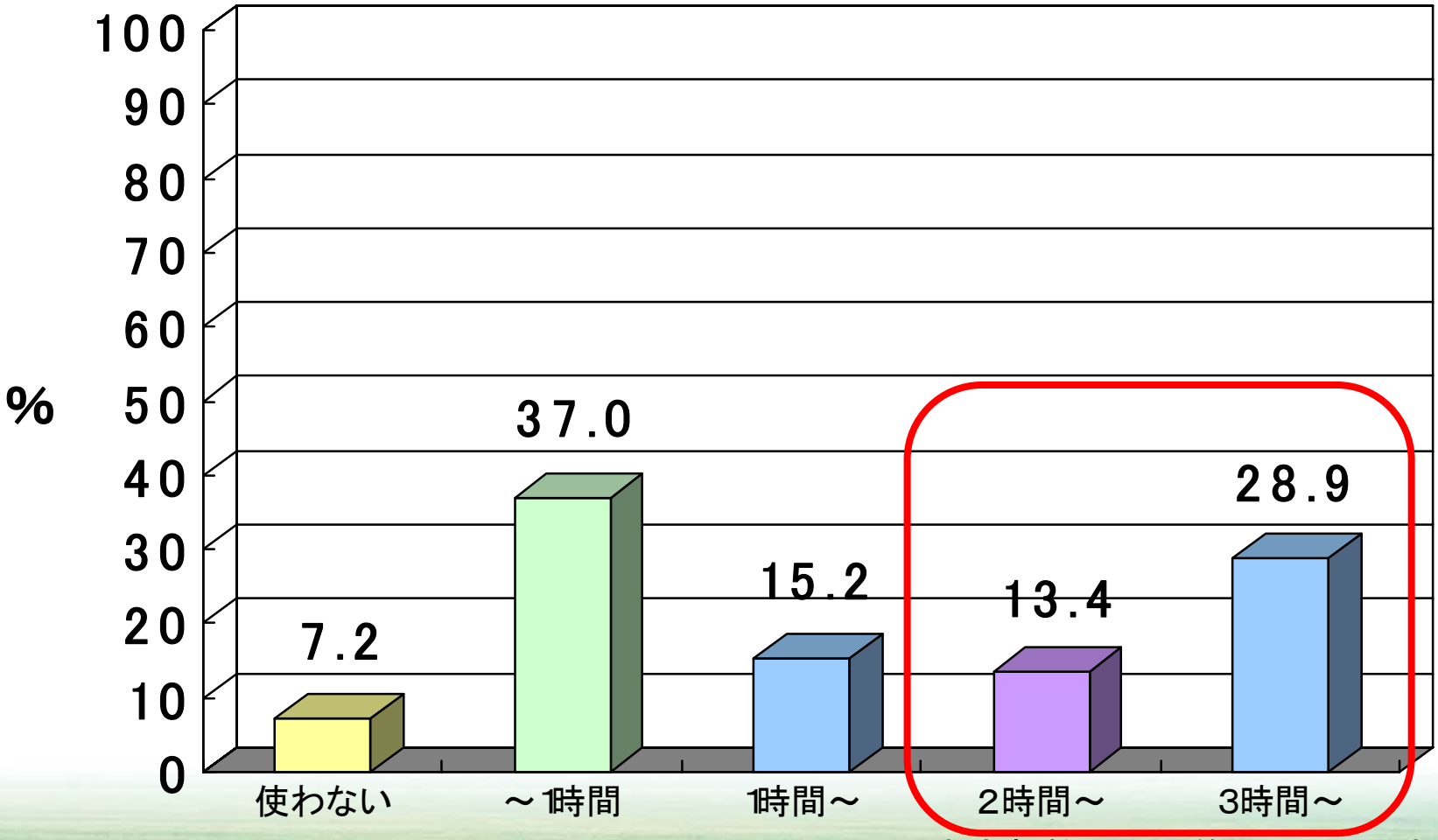
東京都教職員研修センター調査より

携帯電話のメール利用時間（小6）



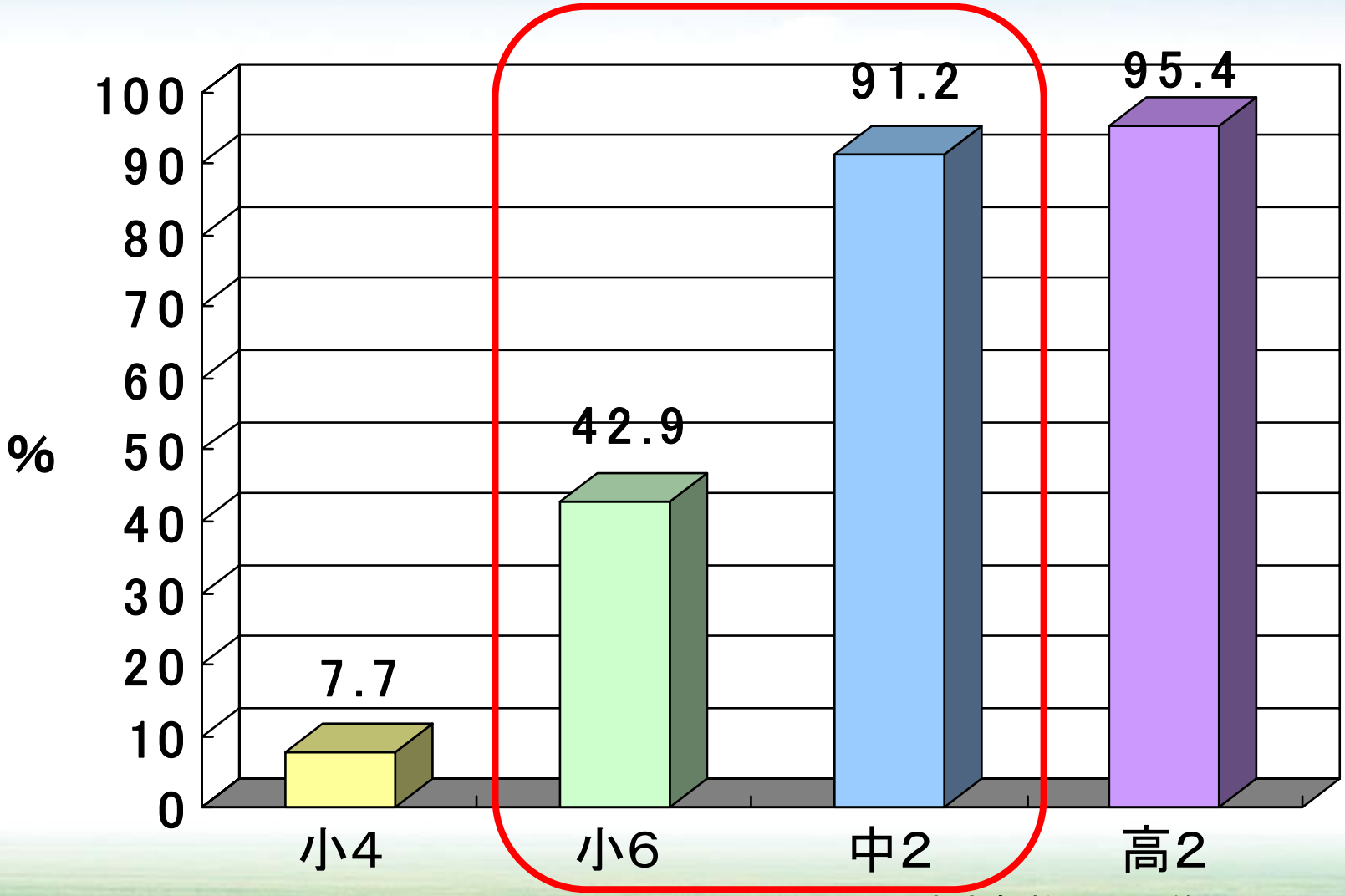
東京都教職員研修センター調査より

携帯電話のメール利用時間（中2）



東京都教職員研修センター調査より

チェーンメールの経験



東京都教職員研修センター調査より

考えられる原因

- インターネットの特性
  - 性善説、匿名性、非対面性
- メディアの変化
  - 受信専用メディア→個人でも発信できるメディア
- 子どもの遊びの変化
  - 異学年→同学年、外→中、ゲーム機、携帯ゲーム機の普及
- 環境の変化
  - みんな貧乏→モノが豊かな社会
  - 6畳一間に一家4人→小学生から個室
  - 自然がいっぱい→都会は自然が減少
- 情報モラル教育の遅れ
  - 何もしなかった10年のツケ

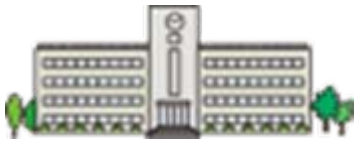
赤羽台西小学校の情報モラル教育①

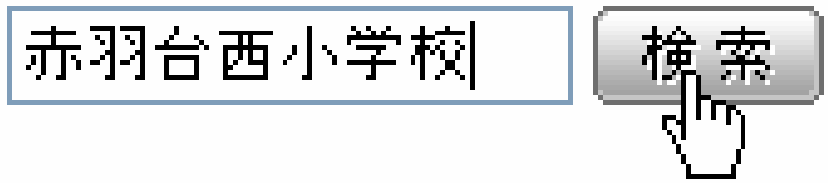
- 「情報モラル」の分類・整理
  - ①モラル　②マナー・ルール
  - ③メディアリテラシー　④セーフティ
- 児童の実態把握アンケート
  - 毎年４月に実施
- 情報モラル教育年間指導計画
- 指導する時間の設定
  - 総合的な学習の時間から20時間「情報」
  - 情報の学習の中で4年生以上３～５時間
  - 情報は担任と私のT.T.で行う

赤羽台西小学校の情報モラル教育②

- ❖家庭との連携
  - 毎年保護者向け説明会を実施
- ❖導入教材を活用
  - アニメーションで興味を引く
- ❖指導略案を残す
  - みんなが指導できるように

赤羽台西小学校のWebサイトで情報公開中





なぜ保護者との連携が必要か

- 学校の情報モラル教育は一律
- 情報環境、子どもの興味・関心が多様化
- 家庭での利用が多い
- 学校外のトラブルを学校で解決している
  - 佐世保の事件が象徴
- 保護者は情報モラル教育を受けていない
  - 知識や情報の提供が必要
- 核家族化で家庭での子育て不安
  - いい親子関係が事件を未然に防ぐ

保護者との連携の方法

- ❖保護者への説明会を実施
  - 教員が説明、外部講師へ依頼
- ❖保護者会で短時間のシリーズで話す
- ❖保護者へ「情報モラル通信」を発行する
- ❖学校公開日に情報モラルの授業を実施

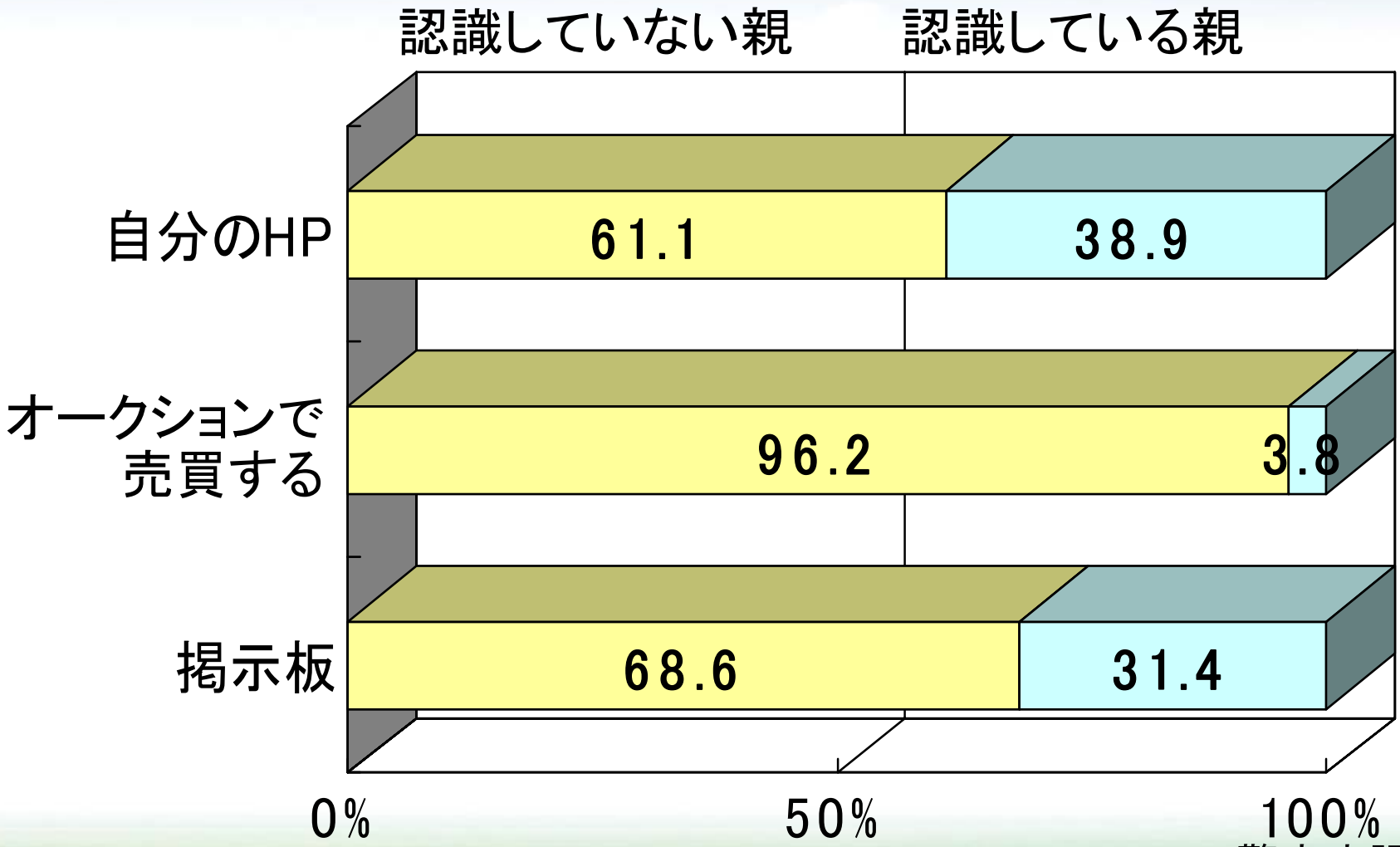
保護者のための学習会

①子どもに迫る危険と対策
②学校での情報モラル教育内容
③家庭にお願いしたい7つのこと

家庭にお願いしたい7つのこと

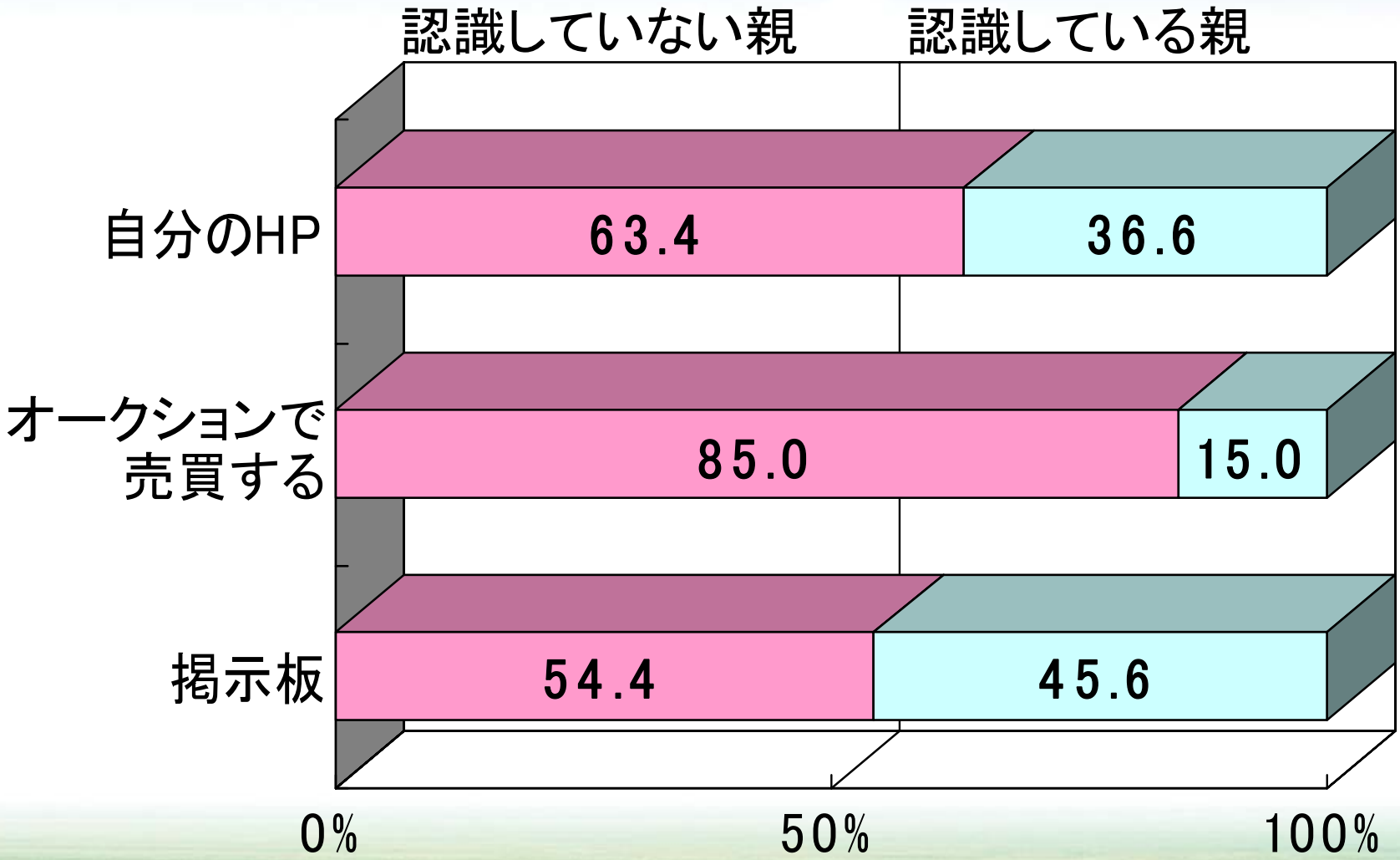
1. ネットの危険と対策を知ろう
2. 学校と協力しよう
3. パソコンはリビングに置こう
4. フィルタリングソフトを使おう
5. 子どもの居場所をつくろう
6. 相談できる親になろう
7. 家庭のルールを決めよう

ネットの利用（中学男子）



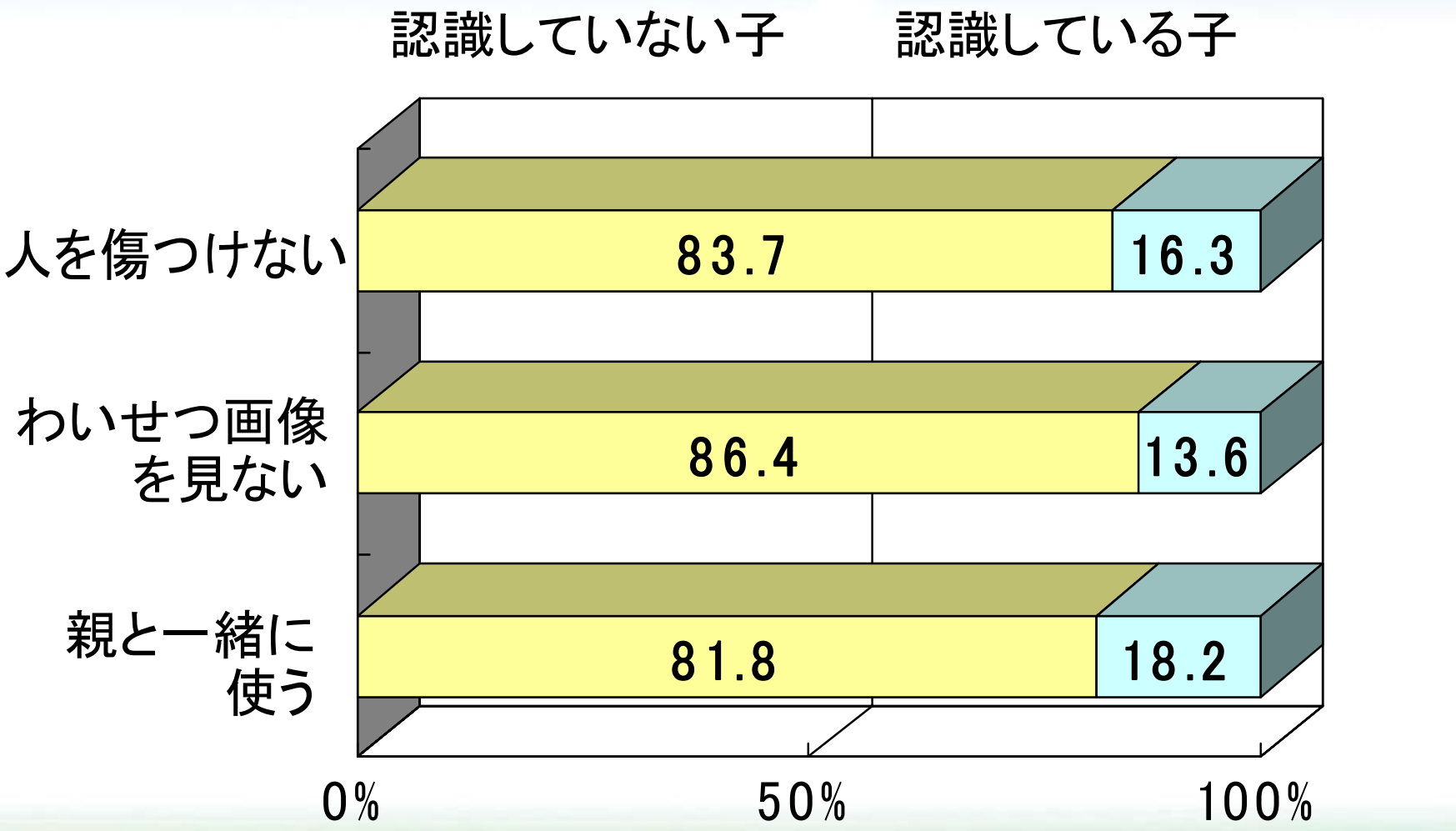
H17警察庁調べ

ネットの利用（中学女子）



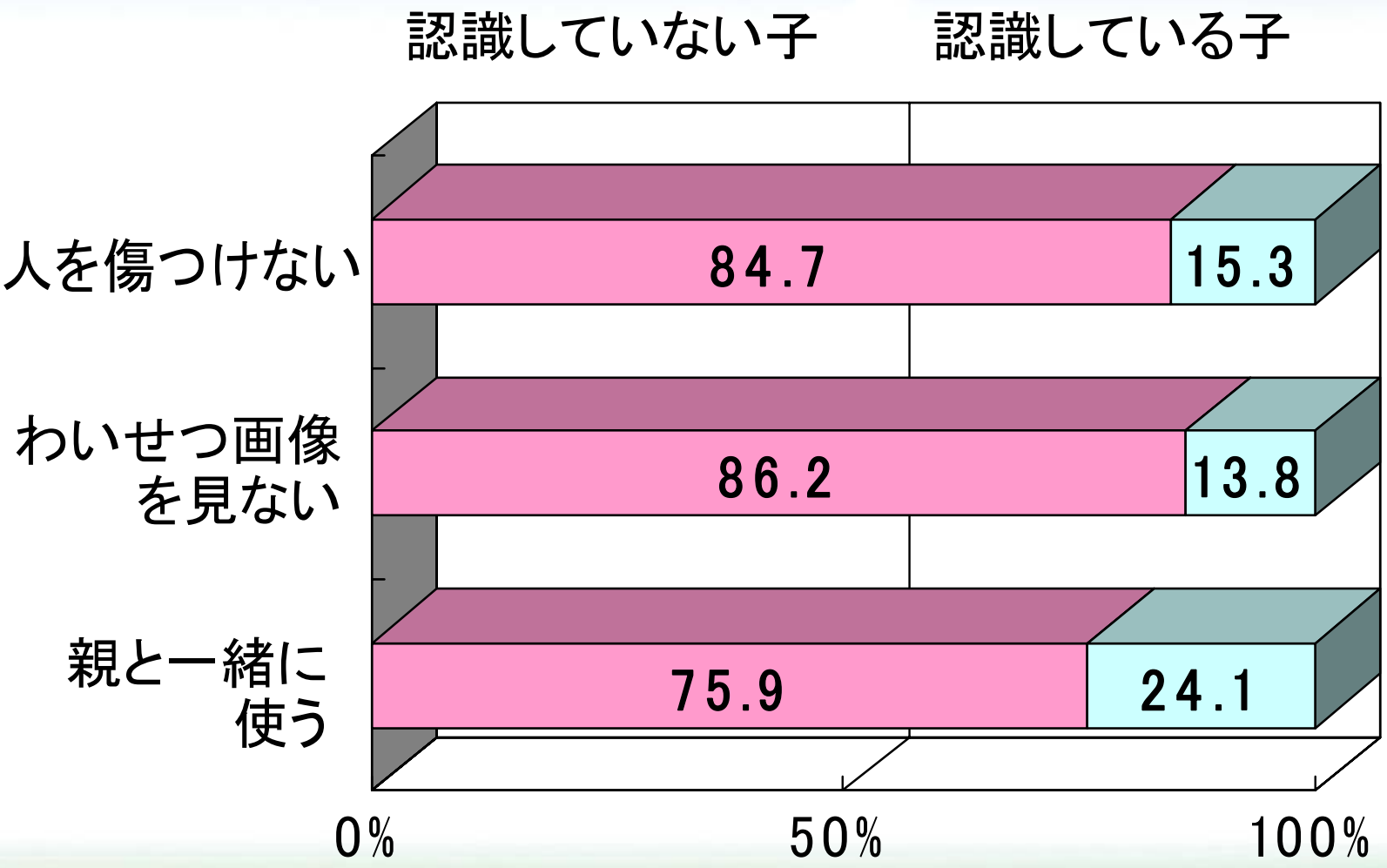
H17警察庁調べ

ネット利用のルール（中学男子）



H17警察庁調べ

ネット利用のルール（中学女子）



H17警察庁調べ